

1. はじめに

UEC ヘルシーキャンパスプロジェクトについて

「電気通信大学で一緒に小麦を育てよう！プロジェクト」は、UEC ヘルシーキャンパスプロジェクトの一環として実施されました。キャンパスの学生・職員、地域住民を含むコミュニティの心身の健康増進と教育研究の推進を目的として、2023 年 10 月、電気通信大学アフラックホール UEC にてキックオフイベントが開催され、プロジェクト 1 期目が始動しました。

電気通信大学で一緒に小麦を育てよう！プロジェクトとは

第 1 期（2023 年度）のプロジェクトは、2023 年 11 月の小麦の種まきから始まり、2024 年 6 月の収穫、同年 10 月の手打ちうどん作りまで、約 1 年間にわたって小麦の栽培から調理に至る一連のプロセスを体験しました。第 2 期（2024 年度）では、小麦の栽培に加え、大豆の種まきや小麦を活用したほうとう作りなど、活動内容の拡充を行ってきました。

第 3 期の第 2 回となる本イベントでは、2025 年 12 月の第 1 回イベントで参加者の皆さんと蒔いた小麦の収穫を行い、あわせて大豆やあずきなどの種まきを行いました。約半年間にわたる小麦の生長を目の当たりにするとともに、次の栽培へとつながるプロセスを体験する機会となりました。地域住民と学生が協力しながら作業を行い、食と農を通じた交流を深めることができました。

本プロジェクトの実施にあたり、電気通信大学社会連携センター、UEC ヘルシーキャンパス推進 WG の協力に加えて、特定非営利活動法人ソーシャルイノベーション協奏バンク様、一般社団法人 SEEDS OF LIFE institute 様といった多くの方々にご支援をいただいております。



プロジェクトの概要

2. 当日の様子

イベント概要

【開催日】2026 年 6 月 7 日（日）
【会場】電気通信大学
【タイムスケジュール】

10:00　イベント開始
10:10　学内ガーデンにて農作業
11:30　人工芝にて軽食提供
12:00　イベント終了

本イベントには大学関係者や地域住民の皆様など約

40 名が参加し、幼児からシニアの方々まで幅広い年代の方々が会場に集いました。参加者全員が協力しながら、小麦の収穫と大豆などの種まきを行いました。

農作業(ガーデンでの活動)

イベントの冒頭では、電気通信大学東地区に位置するガーデンへ移動し、農作業が行われました。ガーデンでは昨年 12 月に蒔いた小麦が穂を実らせており、生長した小麦を目の前にした参加者からは感嘆の声が上がっていました。季節柄、台風や雨の後のイベント実施となりましたが、小麦は風雨にも負けず、立派に育っていました。



収穫前のガーデンの様子

はじめに、小麦の収穫および雑草取りの作業が実施されました。昨年度は実施時期の関係で学生が事前に収穫を行いましたが、今回は参加者の皆さんと一緒に収穫を行うことができました。ガーデン内には小麦も雑草ものびのびと育っている場所が多く、参加者全員で1時間近くにわたって収穫作業と土壌の整備に取り組みました。大人だけでなく子どもたちも真剣な表情で小麦の刈り取りに取り組み、年代を問わず意欲的に作業を進める様子が見られました。



小麦の収穫の様子



小麦を収穫する子どもたち

収穫した小麦は、主にゼミ生によって束ねられました。これまでの活動により土壌に栄養が行き渡っていたためか、予想以上の量の小麦を収穫することができ、小麦を束ねるペースが参加者の収穫ペースに追いつかないほどでした。



束ねた小麦



種まき用に用意した大豆など

その後、本プロジェクトにご協力いただいているSEEDS OF LIFE institute より、次に栽培する作物についての説明が行われました。大豆だけでなく、あずきやいんげんなどを一緒に蒔くことで土により豊富な栄養を与えられるという説明に、参加者は熱心に耳を傾けていました。続いて、収穫を終えた畑に種まきを行いました。種をカップに取り分けている段階から「早くまきたい！」という子どもたちの声が聞こえるなど、参加者は次の栽培への期待を膨らませながら、丁寧に種を蒔いていきました。

飲食提供

農作業終了後には、第一体育館下の人工芝に移動し、参加者全員に対してパンとコーヒー、紅茶などの軽食の提供が行われました。

ソーシャルイノベーション協奏バンクより提供されたパンは好評で、温かいコーヒーとともに、収穫作業の感想を語り合うなど参加者同士の会話も自然と弾んでいました。また、次回のイベントで収穫した小麦を活用した料理のアイデアを募集していることをお伝えしたところ、「何がいいだろう」と楽しそうに話し合う姿が見られ、次回への期待が高まる時間となりました。



歓談の様子

収穫した小麦の乾燥

イベント終了後、束ねた小麦を乾燥させるため、人工芝の壁面に取り付けました。小麦は水分を含むと傷みやすく、収穫中も小雨にさらされたため、1 週間ほど干して乾かしました。今回の収穫量では参加者全員分の料理を作るにはまだ十分とは言えませんが、料理イベントでも活用できるよう、今後もより多くの小麦を安定して収穫できる栽培を目指していきます。引き続き、皆さまの応援・ご協力をよろしくお願いいたします。



束ねて干している小麦

3. まとめ

「電気通信大学で一緒に小麦を育てよう！プロジェクト 3 期目第 2 回小麦を収穫しよう！」では、皆さんと楽しい時間を過ごすことができました。次回は、今回収穫した小麦を活用した料理イベントを予定しています。今後のイベント開催などに関する情報は、LINE オープンチャットや本学 HP、大河原研究室の HP や X（旧 Twitter）にてご案内いたします。

大河原研究室 HP：
http://www.ohkawara.lab.uec.ac.jp/
大河原研究室 X（旧 Twitter）：
https://x.com/ohkawaralab

【主催】
電気通信大学　大河原研究室
電気通信大学　社会連携センター
UEC ヘルシーキャンパス推進 WG
【協力】
特定非営利活動法人ソーシャルイノベーション協奏バンク
一般社団法人 SEEDS OF LIFE institute
https://www.seedsol.org/
【文責】
電気通信大学　大河原研究室　修士 岩見光一郎
http://www.ohkawara.lab.uec.ac.jp/
【お問い合わせ先】
電気通信大学　大河原研究室
メール：ohkawaraLab@gmail.com